

# 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場会社名 株式会社 オーエム製作所  
 コード番号 6213 URL <http://www.omltd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山村 英司  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理部長 (氏名) 佐脇 祐二  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 大

TEL 06-6350-1200

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	8,305	△31.5	1,651	△41.3	1,677	△40.3	924	△44.0
21年3月期第3四半期	12,116	—	2,811	—	2,811	—	1,651	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	29.11	—
21年3月期第3四半期	52.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	16,478	11,622	70.5	365.95
21年3月期	18,458	11,183	60.6	352.12

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 11,622百万円 21年3月期 11,183百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	15.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,950	△29.8	2,220	△43.9	2,240	△43.2	1,160	△49.0	36.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 33,200,000株 21年3月期 33,200,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 1,440,717株 21年3月期 1,439,193株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 31,760,137株 21年3月期第3四半期 31,428,655株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、世界規模での景気低迷に対して、最悪期は脱したものの、国内景気は中国を中心とする新興国の需要に頼る部分が多く、国内の設備投資の低迷や、雇用情勢の悪化など依然、景気回復の足どりは重い状況が続いております。

当社の主要事業である工作機械部門が属している業界の受注状況は、国内においては、依然、投資意欲の減退が続いておりますが、反面、アジアの新興国を中心とした地域からの需要が鮮明になってきており、今後、外需依存が大きくなるものと思われまます。

当社グループはこのような厳しい状況におきまして、需要喚起を計る為、内覧会の実施やユーザー巡回サービス等の営業支援を実施すると共に、グループ全体で人員の適正化を計り、固定費の削減など企業体質の強化に取り組みました。

その結果、第3四半期の連結売上高は、83億5百万円（前年同期比31.5%減）、営業利益16億5千1百万円（前年同期比41.3%減）、経常利益16億7千7百万円（前年同期比40.3%減）、四半期純利益9億2千4百万円（前年同期比44.0%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [一般機械の製造販売事業]

自動機械部門は、省エネのエアレスケーサーを開発し、宍道工場にて常設展示をし薬品業界、食品業界などへ拡販に努めました。また、工作機械部門は国内需要は大きく減退しており、比較的堅調なエネルギー関連業界へ中型・大型立型旋盤の拡販に取り組みました。

また、平成22年1月22日、23日に当社の長岡工場にて内覧会を開催し、コストパフォーマンスに優れたNeo-EXシリーズを展示しユーザー、商社に対して幅広く販売促進を行いました。今後、Neo-EXシリーズはグローバルに販売展開をしてまいります。

この結果、売上高は、75億8千4百万円（前年同期比26.8%減）、営業利益17億3千4百万円（前年同期比35.4%減）となりました。

#### [鑄造品の製造販売事業]

鑄造品の製造販売事業は、主な販売先である工作機械業界、産業機械業界からの受注は底這いが続き、受注・生産とも低調に推移致しました。原価低減や、一時帰休による生産調整、経費削減に努めましたが、売上高は、5億1千2百万円（前年同期比65.6%減）、営業損失1億7百万円となりました。

#### [その他の事業]

その他の事業はガソリンスタンド、ゴルフ練習場等による収入を計上しました。

売上高は、2億7百万円（前年同期比21.4%減）、営業利益1千万円（前年同期比34.1%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期末における総資産は164億7千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ19億8千万円減少しております。主に売上高の減少により、受取手形及び売掛金が減少したことによりです。

負債は48億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億1千8百万円減少しております。主に生産高の減少により、支払手形及び買掛金が減少したことによりです。

純資産は116億2千2百万円となり、自己資本比率は70.5%と前連結会計年度末に比べて9.9%増加しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は48億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億4千6百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は6億2千9百万円の収入超過となりました。主に税金等調整前四半期純利益を15億8千9百万円計上したことと、売上債権が回収により17億1千9百万円減少したことによる一方、法人税等を14億2千3百万円支払ったことと、生産高の減少により仕入債務が10億9千3百万円減少したことによりです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は6億9千万円の支出超過となりました。主に電気炉設備等の有形固定資産の取得に3億7千9百万円支出したことと、定期預金を3億円預け入れしたことによりです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は4億8千6百万円の支出超過となりました。主に配当金の支払に4億7千5百万円支出したことによりです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年10月29日発表の「平成22年3月期 第2四半期決算短信」において公表した数値に変更ありません。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

但し、当第3四半期連結会計期間において、オーエム技研株式会社（一般機械の製造販売事業）の事業は、当社へ移管し業務を集約しております。尚、オーエム技研株式会社は現在、休眠会社であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年間の償却予定額を期間按分して計上しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、年度末までに解消されるため、当該原価差異は流動負債（その他）として繰り延べております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,307	6,854
受取手形及び売掛金	3,077	4,796
商品及び製品	359	353
仕掛品	1,807	1,640
原材料及び貯蔵品	70	116
その他	529	403
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	12,135	14,147
固定資産		
有形固定資産	2,955	3,191
無形固定資産	50	33
投資その他の資産		
投資有価証券	542	555
その他	795	532
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	1,337	1,085
固定資産合計	4,343	4,310
資産合計	16,478	18,458
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,569	2,663
短期借入金	1,765	1,765
未払法人税等	22	701
賞与引当金	154	408
製品保証引当金	97	76
その他	1,036	1,424
流動負債合計	4,645	7,038
固定負債		
退職給付引当金	126	86
役員退職慰労引当金	44	69
その他	38	80
固定負債合計	210	236
負債合計	4,855	7,274

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,660	1,660
資本剰余金	301	301
利益剰余金	10,058	9,610
自己株式	△475	△474
株主資本合計	11,545	11,097
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	79	88
為替換算調整勘定	△2	△2
評価・換算差額等合計	77	85
純資産合計	11,622	11,183
負債純資産合計	16,478	18,458

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,116	8,305
売上原価	7,693	5,150
売上総利益	4,422	3,154
販売費及び一般管理費	1,610	1,503
営業利益	2,811	1,651
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	11	11
補助金収入	—	26
その他	21	26
営業外収益合計	40	66
営業外費用		
支払利息	24	21
その他	16	18
営業外費用合計	41	39
経常利益	2,811	1,677
特別利益		
固定資産売却益	—	11
貸倒引当金戻入額	8	—
特別利益合計	8	11
特別損失		
事業構造改善費用	—	84
60周年記念費用	—	14
固定資産除却損	27	—
投資有価証券評価損	2	—
その他	0	1
特別損失合計	30	100
税金等調整前四半期純利益	2,789	1,589
法人税、住民税及び事業税	921	431
法人税等調整額	215	233
法人税等合計	1,137	664
四半期純利益	1,651	924

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,789	1,589
減価償却費	317	351
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△201	△253
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△10	21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14	△24
受取利息及び受取配当金	△18	△13
支払利息	24	21
為替差損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2	△11
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,147	1,719
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△650	△127
仕入債務の増減額 (△は減少)	4	△1,093
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△109	△105
その他	73	△8
小計	3,330	2,061
利息及び配当金の受取額	18	13
利息の支払額	△24	△21
法人税等の支払額	△2,197	△1,423
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,126	629
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△341	△300
定期預金の払戻による収入	300	—
有形固定資産の取得による支出	△384	△379
有形固定資産の売却による収入	0	15
無形固定資産の取得による支出	△8	△34
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	2	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△433	△690
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△8	△10
自己株式の取得による支出	△1,003	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△480	△475
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,492	△486
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△801	△546
現金及び現金同等物の期首残高	4,537	5,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,736	4,854

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	一般機械の 製造販売事業 (百万円)	鋳造品の製 造販売事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,363	1,488	264	12,116	—	12,116
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	11	169	12	194	(194)	—
計	10,375	1,658	277	12,310	(194)	12,116
営業利益	2,686	107	15	2,809	2	2,811

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	一般機械の 製造販売事業 (百万円)	鋳造品の製 造販売事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,584	512	207	8,305	—	8,305
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	421	9	430	(430)	—
計	7,584	934	217	8,736	(430)	8,305
営業利益又は営業損失(△)	1,734	△107	10	1,637	13	1,651

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	779	880	285	2	1,947
II 連結売上高（百万円）					12,116
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	6.4	7.3	2.4	0.0	16.1

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	アジア	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	192	669	3	0	866
II 連結売上高（百万円）					8,305
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	2.3	8.1	0.0	0.0	10.4

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。